

自治連だより

～昭島市自治会連合会～



◇第12号◇ 発行：平成29年7月

■5/27 第59回定時総会 開催

第59回昭島市自治会連合会定時総会を5月27日(土)開催し、平成28年度の活動報告、収支決算報告・監査報告／規約一部改定／平成29年度役員選出／平成29年度活動方針・事業計画・予算の議案を提案し承認されました。今年度の活動概要と役員体制を報告します。



1. 活動方針・事業計画

自治会加入世帯の促進 〔加入促進委員会〕	自治会未加入世帯の加入促進／自治会未結成地域への結成促進／会員証「ごきんじょカード」活用の更なる充実
地域防災の備えへの取り組みの支援 〔地域防災委員会〕	各自治会の防災訓練の開催と内容の充実促進／地域防災リーダー育成支援対応と防災教育DVDの活用／学校別避難所運営委員会の確立のための協力
自治会活動の支援と地域コミュニティの活性化 〔総務企画委員会〕	小・中規模自治会への活動支援と地域の活性化／自治会への自治連活動(プロセス)の“見える化”と周知の取り組み／広報物と自治連ホームページの内容の充実

- ・現在、自治会は会員の皆様に「防災・安全・安心・見守り・高齢者」問題など、個人では対応できない地域課題や、困難な課題に対する共助組織として、また新住民と旧住民、若い世代とお年寄りとの共存共栄で、地域のまちづくりなど多くの課題に取組んでいただいている。
- ・加盟自治会に対して連携と交流を図るとともに、単一自治会では対応できない問題や、困難な課題に対する支援や協力、行政との調整などの役割を果たしていきたいと考えております。

2. 予算と活用

- ・今年度も昭島市から230万円の助成金と、東京都の地域の底力発展事業助成金200万円を活用して活動してまいります。都の助成金は自治連として7度目の利用となりました。
- ・例年実施の自治会長研修会は、江東区の「そなエリア」の防災体験学習と東京都総合防災部の協力を得て、防災研修会も同時に計画しております。都の助成金を活用し、会員証第2版や会員特典制度関係の印刷物、また夜間災害対策支援や、避難所運営や自治会、各家庭での防災教育用DVDの購入などを予定しています。この広報紙も都の助成金により作成しております。

3. 平成29年度・自治連役員体制

会長	宮田 次朗	常任委員	三田 肇	橋本 一利	中野 義弘	監事	大越 憲
副会長	中島 岩雄		吉田 祐治	石川 勝己	熊崎 正春		立山美佐枝
	加藤 久之		横田 孝至	下田 和弘	青山 秀雄	相談役	小野 正敏
	柳井 俊男		山本 恭士	山谷 和幸	横山 四郎	委員	指田 準
会計	畠山 敏夫		出羽 久	田中 近江	小野 正敏		伊藤 喜良
会計	宮崎 正雄		野口 錦	芦川 武雄			家田 邦夫

■発行・編集

昭島市自治会連合会 TEL:544-5111

■自治会連合会のホームページ

<http://www.akishima-jichiren.jp/>

昭島市長からのメッセージ

人口減少・少子高齢化時代を迎え、社会を取り巻く環境は大きく様変わりをしています。こうした中で、住みよいまちづくりに向けた活動には、行政のみならず、地域の力が必要不可欠です。

人と人との集まりやつながりを基本とする自治会活動は、地域活動の中心であり、日々の暮らしの中で、自治会の役割は重要であると存じます。

「住んでみたい、住み続けたいまち昭島」の実現に向けて、多くの皆様が、地域のつながりの「源」であります自治会に加入していただければ幸いです。



昭島市長 納井伸介

これから加入される皆様へ



昭島市自治連は
「互近助」お互い近くで
助け合う、隣三軒両隣の
繋がりを目指しています！

自治会は、
昭島市と協働し
“まちづくり”を
地域の皆さんと連携し
取り組んでいます！

互近助の力で
安全・安心のまちづくり

ふれあいと心の通う
温かなまちづくり

快適で住みよい
環境のまちづくり

行政とのパイプ役
協働のまちづくり

ごきんじょ 「互近助づきあい」 してますか！



自治会は隣近所でつながり支え合う「鏡の見える・元気都市あきしま」を目指します！
昭島市公式キャラクター「アキハ・アイラン」

ごきんじょ
「互近助カード」を“協力店”に
提示すると特典を受けられます！

自治会に加入 すると特典がある！

昭島市自治会連合会

次のものを、自治会からお届けいたします！

会員の皆様へ

■自治会員証「ごきんじょ(互近助)カード」



- 会員証の第2版(下地が薄緑)です。第1版(下地が黄色)は明年3月まで有効です。
- その後、各自で処分をお願いいたします。
- 第2版のカードは、8月からお使いいただけます。有効期限は、2023年3月です。
- 紛失した場合は、各自治会で対応します。

■会員特典制度の「協力店一覧」〔第4版〕

- 協力店一覧〔第4版〕オレンジ色を、会員証と一緒に届けします。
- この制度は、協力店のご厚意で利用時に、サービス等が受けられる制度です。利用時には、事前に確認しご利用ください。

.....★会員証を協力店に提示した際の“お得”情報・事例★.....

- 昭島市民会館文化事業協会主催のイベント：公民館窓口にて10%割引
- 国営昭和記念公園レインボープール：小中学生3名と夫婦で1,700円割引
- 東京サマーランドや、サンリオピューロランドは、一人200円割引
- フォレストイン昭和館の宿泊代20%割引。パレスホテル立川や立川グランドホテルは飲食代が10%割引（対象外もありますので確認下さい）
- 徳洲会の人間ドックは、5%割引（地域診療連携室に要連絡）

※詳細は、一覧表をご覧ください。また不明点は事前に確認ください。

■昭島市の自治会は”97”自治会

瑞雲中学の南東の「ポレスター昭島」が仲間になりました。今後西武立川駅南側2つと、JR東中神駅北東の開発中の「もくせいの杜」が予定されています。

昭島市自治連



昭島市自治会会員の皆様へ

～自治会活動は、“互近助(ごきんじょ)という作法”～

同じ地域に住む者同士、互いに近くで助け合う、それが「互近助」です。ほどよい距離感で隣人に关心を持ち、困っているな、変だなと思ったら、いつでも近くにいる人が声を掛け、助け合うのが「互近助づくりあい」。それが災害列島日本に住む者の作法なのです。

“互近助”カードが、自治会への加入増強、防災隣組の促進、地域の活性化に活用されることを期待しております。



防災・危機管理アドバイザー 山村武彦

■6/3 新任自治会長説明会を開催

- ・3年前から実施してきました新任自治会長を対象に平成29年度新任自治会長説明会を、公民館3階で実施しました。
- ・自治会長として、行政や自治連との連携など自治会運営上知っておいたほうがよいことを中心に説明会を実施しました。
- ・特に今年は、5月末改訂された個人情報保護法の自治会としての対応についても説明させていただきました。
- ・また、東京都の「地域の底力発展事業助成制度」を活用すれば、ブロックが100万円、単一自治会20~30万円の支援を受けられることや、祭りや餅つき大会の設営撤去委託費、電気工事費などの経費も対象となることの説明もさせていただきました。



■6/3 LEDヘッドライトを使って、夜間受付模擬訓練を実施



- ・新任自治会長説明会の後、公民館内で市内の防災担当の役員も集っていただき実施しました。
- ・はじめに、昭島消防署大神出張所の上條氏から、夜間時の対応や地震対策（先ず身の安全そして揺れが収まったら消火、家具配置の変更や家具の固定、電源復旧時の火災に注意など）について防火防災に対するお話をいただきました。
- ・その後、消防署の指導のもと夜間受付模擬防災訓練を実施しました。内容は都の助成金で購入したLEDヘッドライトを使い、一時避難所での受付の模擬訓練を実施し、夜間停電時にもヘッドライトを活用することで周辺が明るくなり、各種の夜間の防災活動が有効なことを確認しました。

■「個人情報保護法」が改正され“自治会”も対象となりました！

- ・改正前は5,000人以上の個人情報を取り扱う民間事業者が対象で、自治会は対象外でしたが、5月30日全面改正の施行により、自治会も対象内となりました。
- ・マンション管理組合、PTA等の「非営利組織」も同様で、自治会を始めこうした組織が個人情報を集める場合は「名簿を作るため」と本人に目的を明示することと、保管に関する「管理方法」が義務付けられました。これにより、自治会も個人情報取扱方法について規約等の中で明文化し、会員の皆さんに周知する必要があります。
- ・各自治会も法律の改正に伴い、会員の皆様の個人情報取扱方法を検討し、隨時準備を進めておりますので、今後ともご協力ください。
- ・自治連としても昨年12月の自治会長交流会に、都の担当者に来て頂き説明会を開きました。



■6/7 付けて「東京都町会連合会」に昭島市も加入

- ・5月の定時総会の承認に基づき、東京都町会連合会に加入届を提出しました結果、6月度の東京都町会連合会常任委員会の席上、昭島市自治会連合会の加入が承認されました。
- ・昭島市の加入により都町連の加盟自治体は、23区十八王子市・町田市・府中市・立川市・昭島市となり、7月常任委員会で調布市と狛江市も加盟し、現在30区市となりました。
- ・今後「東京都町会連合会」を通じ東京都とのパイプを太くし、昭島市自治会連合会に必要な情報を、正確に早く入手し、自治連ならびに自治会の活動に活用してまいります。
- ・早速『平成30年度東京都の施策及び予算に対する要望書』を4項目の提案をしました。昭島市民の人気スポットの多摩川の歩道が「最近40キロを越すスピードで通過する自転車が増え危険になっている。何とかしてほしい」と多くの声が届いていました。今回“歩道と自転車道を分けて整備し、自転車道路を災害時、緊急車両用に”との提案(要望)もしました。今後とも、安全安心で住み続けたい昭島に向け“昭島市”“東京都”に提案していきます。